



展覧会

シネマブックの 秘かな愉しみ

2015年4.14(火)▶8.2(日)

月曜日、5月26日(火)～28日(木)は休室です。

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室(7階)

開室時間：午前11時～午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金：一般210円(100円)／大学生・シニア70円(40円)／高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、

MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。

*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は

それぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。

*フィルムセンターの上映企画をご覧になった方は当日に限り、

半券のご提示により団体料金が適用されます。

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター



映画書の知・楽・美

120年になろうとする映画の歴史—その誕生の瞬間から、書物は映画とともにありました。

映画はそれまでの諸芸術やテクノロジーを貪欲に吸収し、あらゆる人々に開かれた大衆性を持ったことで、20世紀以降の文化をリードするとともに数えきれないほどの言葉と書物を生み出しました。《映画》と《映画の本》は、離れられない運命的な仲といえるでしょう。

国内最大の映画専門図書館を擁するフィルムセンターは、この度こうした映画の書物をめぐる展覧会を開催いたします。映画史を知るための基本文庫、明治・大正期の貴重書や無声映画時代の“映画文庫”、豪華な大型本・愛らしい豆本、こども向けの本や優れたデザインの書籍、映画という職業をめぐる本まで、映画史と寄り添って脈々と生み出され、さまざまな魅力を放つ日本の映画書を一堂に集めて展示し、併せて、映画の本を収集している日本各地の映画図書館をご紹介します。

多彩なゲストを迎えた連続講座も交えて、書物という切り口から、映画という豊饒な知の体系に触れられる絶好の機会となるでしょう。



《俳優本》たち



フィルムセンター図書館書庫



対訳シナリオ「モーション・ピクチャー・ライブラリー」(1946-1949年) 表紙イラスト：野口久光

展覧会の構成

第1章
映画書のABC

第2章
映画書は美しい

第3章
映画をめぐる仕事

第4章
映画書アラカルト

シネマブック連続講座 映画書の過去・現在・未来を知る！

- 4月18日① 若手映画書編集者対談
樽本周馬(国書刊行会)×佐野亨(編集者・ライター)
- 5月16日② 映画古書の深淵へ
中山信行(稲垣書店店主)×高崎俊夫(書籍編集者・映画批評家)
- 6月13日③ 映画書のデザインをめぐって
鈴木一誌(ブックデザイナー)
- 7月11日④ 日本映画史の稀覯書をめぐって——出品文献解説
本地陽彦(日本映画史・日本映画文献史研究家)
- 8月1日⑤ 映画本渡世——編集者人生45年
山根貞男(映画評論家)

*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

学生向け フィルムセンター図書室見学会

映画のすべてを学べるシネマブックの宝庫！ 研究員・司書の解説つきで、日頃は見られないフィルムセンター図書室の書庫をのぞいてみませんか？

7月31日① 8月1日② 両日とも11:30～(40分程度)

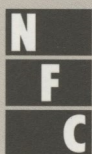
*申請者は中学校以上の学生と、学校の教員に限ります。
*個人申込のみで、団体申込はありません。

参加は申込制です(Eメールのみ)
7月16日③ 10:00より受付開始
メールにて右記①～⑤の必要事項をご記入の上「フィルムセンター 図書室見学会」までお申し込みください。
表題は「図書室見学会希望」としてください。
受付票をメールにて返信いたします。
締切は実施日の1週間前(必着)です。
各回、定員(20名)に達し次第締め切ります。

Eメール フィルムセンター 図書室見学会
cinemabook@momat.go.jp

記入事項

- ①希望日(7月31日または8月1日)
- ②参加者の名前
- ③学生の場合は学年、教員の場合は勤務先
- ④メールアドレス
- ⑤電話番号(緊急時連絡用)



東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ
<http://www.momat.go.jp/>

▼ 交通

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

